

高松支部メディア教育研究部会活動報告

1 研究主題

「自ら学び、自ら考え行動する生徒の育成」
～さまざまなメディアを活用し、主体的に
学習する生徒の育成～

2 はじめに

高松市内では、各学校、各授業等で、コンピュータ等のメディア機器を活用して研究主題に迫ろうとするさまざまな取り組みがなされている。また、インターネットに代表される情報の通信は、生活の中で普通に使われ、便利さを享受できる反面、負の部分が生徒に影響を与え場面も増えている。そこで今年度は、情報モラルを扱う授業への研修や実践を中心に、生徒が安心してメディアを利用できる力を育成しようと考えた。

また、学校にはさまざまなメディア機器が導入され、多くの先生方が利用している。そのため、機器の管理ができにくくなり、使いたいときにその機器が見あたらないこともある。こういう問題を改善するために、昨年度に引き続き機器管理について考え、改善点を出し合った。

3 研究の概要

(1) 第1回主任研修会(4月26日 一宮中学校)

- ①研究主題の決定
- ②研究組織の決定
- ③研究計画の決定

(2) 第2回主任研修会(6月17日 一宮中学校)

- ①機器管理の現状と改善策の情報交換
- ②携帯電話の使用に関するモラル教育の実践案の作成と情報交換

(3) 夏季研修会(8月4日 附属高松中学校)

- ①危機管理の改善についての報告
- ②サイバー犯罪についての研修

指導講話 香川県警生活環境課サイバー
対策係長 荻田順一郎様

③企業3社による商品デモ、体験操作等

(4) 第3回主任研修会(9月17日 一宮中学校)

①機器管理についての改善策提出

②携帯電話の使用に関するモラル教育の実
践案提出

③情報モラル教育についての実習研修

(5) 第4回主任研修会(11月26日 一宮中学校)

①携帯電話の使用に関するモラル教育の実
践後の報告提出

② TV 会議システムの利用についての情報
交換

③企業1社による商品デモ

(6) 第5回主任研修会(2月25日 一宮中学校)

①20年度のまとめ作成

②20年度の反省と21年度の研究、研修
についての情報交換

<夏期研修会の様子>



4 研究の内容

・携帯電話の使用に関するモラル教育の実践 事例(香川県立高松北中学校 井戸健一)

1. 目標

「携帯電話の影の部分と利便性を認識し、携帯電話に振り回されない判断力を養う」

2. 対象学年 3年

3. 指導のねらい

中学生の40%以上、高校生の95%以上の生徒が携帯電話を所有し、日常的に使っている。使い方・活用などは口コミや噂で広がり、保護者・教員の目が届かないところで行われている。文字情報のみのやり取り、大人社会の影の部分を知らないまま無意識に利用した結果、トラブルに巻き込まれたり事件を起こしたりしている事例が多い。

携帯電話の所持・利用の仕方の実態をアンケート調査し、クラスの実情を踏まえた上で、事例を示しながら、携帯電話の陰の部分を学習し、携帯電話の必要性や利用する際の判断能力を養う。

4. 指導展開例

(i) 事前準備・・・アンケート調査を実施(別紙)

(ii) 導入・・・携帯電話等に関する問題に答える(クイズ形式)。アンケート結果、携帯電話・インターネットに関する事例を知る

(iii) 展開・・・「情報モラル指導ポータルサイト」「児童生徒健全育成等連絡協議会・携帯電話やインターネットでのトラブル対応マニュアル」より事例を示し、対応の仕方を学ぶ。(誹謗中傷・チェーンメール・プロフ・不当請求)

(iv) まとめ・・・アンケート結果、金銭、生活、学習など総合的に考え、携帯電話の必要性をもう一度考える。携帯を利用する場合は、使用方法よりもその時々判断力が大切なこと確認する。

5. その他

情報モラル教育は、生徒だけではなく家庭との連携が必要である。高校入学を機会に携帯電話を購入する者も多い。今回は、アンケート結果、トラブルの事例、フィルタリング、家庭内のルール設定について学年団便りを通じて、携帯電話の必要性も含めて保護者への啓発を行う。

・機器管理に関する改善の実践事例
(城内、勝賀、一宮、男木、国分寺等の多数の中学校より)

○工夫点

(1) 小さな置き場と大きな置き場

100円ショップのプラスチックケースを利用して小さな部品のあるようなものや書類は1まとまりにして管理している。「小さな置き場」を作る。「小さな置き場」をまとめた部屋(「大きな置き場」)を機器の置き場とする。

(2) 貸与表

パソコン・USBメモリ などの年間貸与のものについては表を作成し掲示する。デジカメ・プロジェクトなどの行事ごとの貸与のものについては使用後すぐ返却してもらうようにする。

(3) 全職員一斉の大捜索

全職員を二人組に分け、全ての教室、ロッカー等を一斉に点検した。結果、行方が曖昧になっていたデジタルカメラが見つかったり、接続コードが見つかったりした。管理職の号令のもと、時間を決めて一斉に取り組んだ。

(4) デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、その他

デジタルカメラ、デジタルビデオカメラについては、鍵の掛かるロッカー内で保存し、貸与表を活用している。学校備品でハイビジョンムービーとBDレコーダーを購入し、合唱コンクールを録画後BDに焼いたが、きれいな画質であった。

(5) 定期的な整理と確認

毎月1回、定期的に保管場所を整理し、機器の状況を確認した。データが入っているものについては鍵をつけた。また、写真データ等は年度と内容ごとに整理して、DVDに保存して、金庫に保管するようにした。

(6) 管理方法の周知

電源の充電、データの初期化を次の使用者のために、必ず行ってもらうように教職員にお願いした。また、USBメモリーには、目立つようなものを付けたり、ひもを付けたりして、絶対に置き忘れないように啓発した。また、市教委からの要請を受け、ウィルス対策ソフトの導入、個人情報漏洩防止についても周知徹底した。

5 今後の課題

本年度の取り組みは予定の成果を上げたと思っている。来年度も生徒への実践を中心に行いたいと思う。また、コンピュータウィルス対策や地デジへの対応などについても研修したいと考えている。